

第1部 住民活動の可能性と限界をさぐる

地域で抱える福祉・生活課題に対して、それぞれの地域の強みや今後強みとなるものを伸ばし、課題解決のために必要な住民活動の可能性を討論します。

パネリスト

- 社会福祉法人ほっとスマイル 理事長 赤石 貞子
- 社会福祉法人優輝福祉会 理事長 熊原 保
- 下矢部西部地区社会福祉協議会 会長 津川 則光
- 中津市社会福祉協議会 地域福祉課生活相談支援係長 吉田 瑞穂
- 東西町地域振興協議会 会長 原 和正

サポーター

全国コミュニティライフサポートセンター
理事長 池田 昌弘

コーディネーター

神戸学院大学 教授 藤井 博志

第2部 地域力を引き出す福祉制度とは

重層化、複雑化する福祉課題の解決のため、地域や住民が取り組みやすくするために、現行の福祉制度の効果的な運用や課題について討論します。

パネリスト

- ボランティアグループすずの会 代表 鈴木 恵子
- 高山市社会福祉協議会 常務理事兼事務局長 小峠 賢次
- 総社市社会福祉協議会 生活困窮支援センター長兼権利擁護センター長 吉岡 亨祐
- 八頭町福祉事務所(鳥取県八頭町) 所長 田中 裕之
- 日南町地域包括支援センター(鳥取県日南町) 主任社会福祉士 緒形 明朗

サポーター

全国コミュニティライフサポートセンター
理事長 池田 昌弘

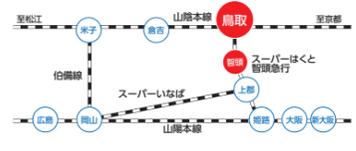
コーディネーター

日本福祉大学 副学長 平野 隆之

とりぎん文化会館までのご案内

《アクセス(広域)》

- 鉄道** 大阪ー鳥取 約2時間30分
(大阪-新大阪)ー【スーパーはくと】
広島ー鳥取 約2時間45分
【新幹線】ー(岡山)ー【スーパーいなば】
【新幹線】ー(姫路)ー【スーパーはくと】



- 車** 大阪ー鳥取 約2時間30分
【中国自動車道】ー(山崎I.C.)ー【R29】
【中国自動車道】ー(佐用J.C.T)ー【鳥取自動車道】
- 岡山ー鳥取 約3時間
【岡山自動車道】ー【中国自動車道】ー(津山I.C.)
【R53】ー【智頭I.C.】ー【鳥取自動車道】



《市内交通》

- 徒歩** JR鳥取駅から若桜街道を県庁方面へ20分
- バス** 鳥取バスターミナル(JR鳥取駅横)から
湖山・鳥大・賀露線など「県庁日赤前」下車
(所要時間:5分)
100円循環バス「くる梨」で「県民文化会館
(とりぎん文化会館)」下車
- 車** JR鳥取駅から約5分
鳥取空港から約15分(タクシー、空港連絡バス)

智頭町保健・医療・福祉総合センターまでのご案内



- 車** 鳥取自動車道智頭インター出口から約5分。出口を左折し、国道53号線の「錦橋」を右折。JRの踏切を渡り、200メートル先左側。
- 鉄道** JR・智頭急行の智頭駅から徒歩3分。JR智頭駅正面を出て右側の歩道橋を渡り、JR智頭駅の西側へ。左手前方に智頭町保健・医療・福祉総合センター「ほのほの」(智頭病院などの建物が見えますので、そこを指してお越しください。

【お申し込み・お問い合わせ先】 第3回町内・集落福祉全国サミットin鳥取実行委員会 ■事務局(鳥取県福祉保健部長寿社会課) 担当:若原 千680-8570 鳥取県鳥取市東町1-220 鳥取県庁長寿社会課 電話:0857-26-7158 FAX:0857-26-8127 電子メール: choujuyushakai@pref.tottori.jp

※全体会、分科会、徹底討論会の出演者は都合により変更になることがあります。

第3回

町内・集落福祉全国サミットin鳥取 ～地域を変える、地域を創る～

開催日:平成27年10月18日(日)・19日(月)

会場:とりぎん文化会館(全体会・分科会・徹底討論会)
智頭町保健・医療・福祉総合センター(分科会)

10月18日(日)

- 12:00~13:00 **受付**
- 13:00~13:05 **オープニング** 合唱「ふるさと」 鳥取市少年少女合唱団
- 13:05~13:15 **実行委員長挨拶** 鳥取県知事
- 市長歓迎挨拶** 鳥取市長
- 13:20~13:50 **記念講演** 「(仮)地域福祉で進める!地方創生」
講師:内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 地方創生総括官 山崎 史郎
- 13:50~14:20 **基調講演** 「新たな地域課題・生活課題への対応に向けた地域福祉の展開」
講師:日本福祉大学 副学長 平野 隆之
- 14:20~14:45 **鳥取県内の取組紹介**
「ととりの支え愛、まるごと紹介します!!」
紹介:鳥取県社会福祉協議会
「地域と自然が育む強く、豊かな心」
発表者:NPO法人 智頭町森のようちえん まるとんぼう 代表 西村 早栄子
- 15:00~17:15 **分科会1~3** (とりぎん文化会館)
- 16:00~17:40 **分科会4** (智頭町保健・医療・福祉総合センター)
- 18:00~19:30 **交流会** 智頭会場(旧山郷小学校)
- 18:30~20:00 **交流会** 鳥取会場(パレットとっとり)

10月19日(月)

徹底討論会

- 9:00~ 9:30 **受付**
- 9:30~12:00 **徹底討論会**
第1部「住民活動の可能性と限界をさぐる」
第2部「地域力を引き出す福祉制度とは」

現地視察

- 8:45~ 9:00 **受付** (鳥取駅南口)
- 10:00~12:00 **現地視察**
・智頭町森のようちえん
・森のミニデイ

※鳥取駅12:45解散(予定)

【主催】第3回 町内・集落福祉全国サミットin鳥取実行委員会 【共催】鳥取県、鳥取市、智頭町、社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会
【主管】NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター

【後援】厚生労働省、社会福祉法人全国社会福祉協議会、社会福祉法人鳥取市社会福祉協議会、社会福祉法人米子市社会福祉協議会、社会福祉法人倉吉市社会福祉協議会、社会福祉法人境港市社会福祉協議会、社会福祉法人若美町社会福祉協議会、社会福祉法人八頭町社会福祉協議会、社会福祉法人若桜町社会福祉協議会、社会福祉法人智頭町社会福祉協議会、鳥取県市長会、鳥取県町村会、鳥取県自治会連合会、鳥取県民生児童委員協議会、鳥取県社会福祉施設経営者協議会、新日本海新聞社、山陰中央新報社、NHK鳥取放送局、日本海テレビ、BSS山陰放送、TSK山陰中央テレビ、日本海ケーブルネットワーク、公益財団法人とっとりコンベンションビューロー

分科会

1

「地域の暮らしを守る」 住民の「何とかしたい」が“地域”を変える

人口減少、高齢化が進み、人間関係が希薄化するなかで、地域で取り組まれている住民の安心・安全を支える助け合い活動、地域の声でつくられた施設など、住民の「つながりづくり」、「地域づくり」の工夫を討論します。

パネリスト

兵庫県 社会福祉法人ほっとスマイル 理事長 赤石 貞子

福岡県 はやめ南人情ネットワーク 代表世話人 汐待 律子

鳥取県 NPO法人地域福祉ネット 理事長 吉野 立



住民ニーズから始まり、住民と行政が協議して設置された保育園を運営。独自の方針に基づく事業や障がい児の受入れ、支え合いのネットワークづくりを展開。



認知症の方を地域で包むということを目指し、認知症患者の見守り活動をスタートさせ、校区で訓練や情報網の整備、サポーター要請などを実施。



在宅高齢者を支える訪問看護事業、元気な高齢者による有償の生活支援まちなかサービス、空家を活用した地域の居場所づくりなどを展開。

サポーター 全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘

コーディネーター 神戸学院大学 教授 藤井 博志

分科会

2

「地域の可能性を引き出す」 過疎から始まる“地域”(まち)おこし

中山間地の生活課題・福祉課題を解決するため、地域資源の活用やピンチをチャンスに変える取組を通して、地域が、住民が何ができるのか、変えるためにはどうすべきか、討論します。

パネリスト

広島県 社会福祉法人優輝福祉会 理事長 熊原 保

熊本県 下矢部西部地区社会福祉協議会 会長 津川 則光

鳥取県 東西町地域振興協議会 会長 原 和正



過疎地の地域資源を利用して、地域の農家や障がい者の就労支援を展開。空き家を活用した介護事業やママシェフが里山産品を活かした地域食堂を運営。



合併を契機に自治振興区が設置され、福祉部である地区社協が見守り活動、災害時宿泊体験、小規模多機能ホーム「絆」を運営。



活発な地域振興協議会の自治活動のもと、防災、防犯、高齢者・子育て支援など地域を支える取組を展開。

サポーター 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 内閣参事官 高橋 和久

コーディネーター 鳥取大学 准教授 竹川 俊夫

分科会

3

「地域の力を高める」 “地域”の「個性」と「工夫」が活かされる福祉

新たな制度の運用、そして各種制度の「隙間」の課題や複雑、重層化する福祉課題などの解決のため、一層求められる地域の工夫—多様な地域福祉の展開を後押しするため、これからの福祉制度はどうあるべきか討論します。

パネリスト

神奈川県 ボランティアグループすずの会 代表 鈴木 恵子

岡山県 総社市社会福祉協議会 生活困窮支援センター長兼権利擁護センター長 吉岡 亨祐

鳥取県 社会福祉法人こうほうえん 法人本部 地域総合支援室長 田山 泰久



「ちょっと気になる人」を中心に、ご近所での集まり、近所付き合いを復活させ、助け合える関係を構築。24時間の相談体制、スポットサービス、男性介護者の受け皿作りなども実施。



生活困窮支援センター、権利擁護支援センターなど貧困や孤独などに悩んでいる方への支援窓口を設置し、高齢者、子ども、障がい者の総合支援を展開。



「互恵互助」を法人の価値として地域社会のニーズに応えるため、セーフティネットの構築を目指し、総合相談、総合支援(就労支援・学習支援・生活支援)を地域と共に実施。

サポーター 厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室 室長 熊木 正人

コーディネーター 日本福祉大学 副学長 平野 隆之

分科会

4

「地域支え愛のすすめ」 住民の思いを形にする社協とは

人口減少や高齢化の進展が進むなか、市町村社協の独自の取組を通して、今、求められている市町村社協の役割等を討論します。

パネリスト

岐阜県 高山市社会福祉協議会 常務理事兼事務局長 小峠 賢次

中津市社会福祉協議会 地域福祉課生活相談支援係長 吉田 瑞穂

鳥取県 智頭町社会福祉協議会 事務局長 津田 英樹



地域の「絆」再生事業として、冬季に限っての高齢者集合住宅を開設。子育ての巡回相談支援として、地域を沸かすホットなひととき「移動カフェワゴン」を実施。



誰もが暮らしたいと思う地域づくりに向け、地域住民主体のサロン活動、支え合いのサービス活動の推進や障がい児・者支援事業、総合相談窓口の設置強化を展開。



地区振興協議会による森のミニデイ(介護・支援が必要な方を主に地区の男性が世話人となり支援)、併せて防災活動などの住民活動を支援。

サポーター 全国社会福祉協議会 理事・事務局長 渋谷 篤男

コーディネーター 県立広島大学 講師 手島 洋